

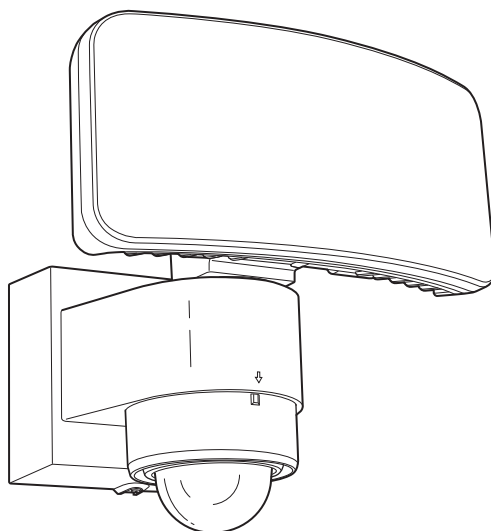
LED センサーライト

電源 AC100V (50/60Hz) <防沫型>

防水性能：IP44(防沫型)

保証書付

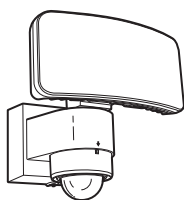
1 灯型 WESL1



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

セット内容

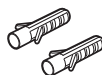
本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。



LED センサーライト：1 台
(WESL1)
コード長約 3m



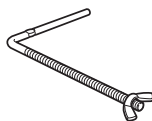
壁面取付用ネジ：2 本



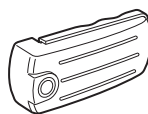
コンクリートアンカー：2 本



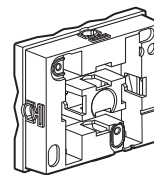
ブラケット取付用ネジ：2 本



マスト取付用 L 字金具：1 セット



マスト取付用クランプ：1 個
(適合マスト径：Φ 30 ～ 85mm)



マスト取付用ブラケット：1 個



取扱説明書：1 冊

もくじ

はじめに

安全上のご注意	2
各部の名称	4

設置

設置する前に	4
センサーについて	4
センサーの検知エリア	5
本体の設置	6
壁面に取り付ける	6
マストまたは柱に取り付ける	7

動作／設定

機能の設定	10
調整台について	10
点灯時間の調整	10
点灯開始照度（明るさ感度）の調整	10
検知範囲の調整	11
ライト部の可動範囲	12
動作テスト	12

その他

故障と判断する前に	13
仕 様	14
外形寸法図	15
保証書	16

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの						
 注意	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの						
 一般的な 注意事項	 一般的な 禁止事項	 接触禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁 止	 指示を守 る	 プラグを 抜く	

 警告	
 指定の電源で使用する AC100V（50/60Hz）コンセントを使用してください。 100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。	 異常があるときは、すぐに使用を中止する 次のような異常時は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。 ・煙がでる、変な臭いがする ・内部に水や昆虫、物が入った ・異音が鳴る ・電源コードや本体の外部が破損、劣化している 火災、感電、けが、故障の原因となります。
 電源コードに無理な力を加えたり、傷つけたりしない 電源コードは、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っ張るなどをしない。 傷んだとき（芯線の露出、断線など）は、そのまま使用すると火災や感電などの原因となりますので、ご使用を中止してください。	 電源コードに水をかけたり、濡らしたりしない また、電源コードの上に水や薬品の入った容器を置かない 水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物が電源コードの上に乗らないように注意してください。 尿や糞が中に入った場合、火災や感電、故障の原因となります。
 内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない 火災や感電、故障の原因となります。	 電源プラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差し込む すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、電源プラグは定期的に ACコンセントから抜いて掃除してください。
 ぬれた手でさわらない 感電の原因となります。	 万一、本製品を落としたり、破損したりした場合、電源プラグを ACコンセントから抜いて販売店に連絡する そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 雷が鳴り出したら本体や電源コードに触れない 感電の原因となります。	 電源プラグを ACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らない コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。
 分解、改造はしない、またライト部に可燃物製のフードや囲いなどをつけない 感電・火災・故障の原因となります。	
 点灯しているライトを直接見ない 視力障害の原因となります。	
 ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間は、絶対に素手で触れない ライト部は熱くなっていますので、やけどの原因となります。	
 お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、ライトの温度が十分下がったあとで行う 感電ややけどの原因となります。	

警告**本製品を移動する場合、必ず電源プラグを AC コンセントから抜く**

コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。

**雷の発生が予想されるときは、前もって、電源プラグを AC コンセントから抜く**

落雷によって、火災の原因となることがあります。

**電源 (AC100V) を入れたまま配線工事をしない**

火災や感電の原因となります。

**次の場所に設置しない**

- ・強度の不足する場所、不安定な場所
落下や転倒によるけがの原因となります。
- ・継続的に振動が発生する場所 (工事現場など)
落下や転倒によるけがの原因となります。
- ・人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触したりして、けがや破損の原因となります。
- ・熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ・塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- ・可燃性ガスが大気中に漂っていると、爆発によるけがの原因となります。
- ・可燃物のそば
- ・わらびき屋根の軒下
- ・ベランダなど、洗濯物や布団などが本製品に触れる場所
- ・風により可燃物が飛んできて本製品を覆う恐れのある場所
火災の原因となります。

**電源工事が必要な場合は、電気工事が行えるお買い上げの販売店、または工事店に依頼する**

電気工事士の資格がない場合、電気工事をする場合は、法律で禁止されています。

**本製品を壁面に取り付けて使用するとき、堅固・確実に取り付ける**

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁 (石膏ボード、ALC (軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、ベニア板など) には取り付けしないでください。

落下により、けがの原因となります。

**マストに取り付ける場合は、ステンレスバンドがたるまないようしっかりと固定する**

固定が不十分な場合、落下により、けがの原因となります。

**乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない**

乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

**土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない**

絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

**設置、点検時は次のことに注意する**

- ・設置や配線、点検時は電源プラグを抜いてから作業する。
感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- ・足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。
落下や転倒によるけがの原因となります。
- ・本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
けがや故障の原因となります。
- ・ケーブル類は正しく配置する。
引っ掛けると落下や転倒によるけが、故障の原因となります。
- ・組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力 (トルク) 指定がある場合は、その力 (トルク) で締め付け、確実に固定する。
落下や転倒によるけがの原因となります。
- ・台風のおとや積雪のおとなどは、取り付けに緩みや異常が生じることがあるので注意する。
点検はお買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- ・取り付けた本製品にぶら下がったり、無理な力を加えたりしない。
落下による破損、けがの原因となります。

**土中埋設する場合、電源コードは、電線管などを使用して防水処理をする**

絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

**取り付け後、確実に固定されているか、またときどきぐらつきがないかを確認する**

固定が不十分な場合、落下によるけがや感電、故障の原因となります。

**屋外でケーブルを延長するときは防水型の電源延長ケーブル (市販品) に接続する**

電源プラグは防雨型ですが、適合する防水型コネクタに接続することで防水性能を発揮します。防水型の電源延長ケーブルを使用しない場合は防雨型コンセントや防水ケースを使用してください。

電源プラグが水などに濡れると、漏電や感電の原因となります。

**電源コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する**

ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

**防水型電源延長ケーブル****注意****大量の水がかかるような場所には取り付けない**

大量の水 (ゲリラ豪雨や台風の雨など) がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。

**お手入れの注意**

ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。

溶けたり、変形や変色の原因となります。

**定期的に点検する**

取り付けが緩んだり、取付用ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。

**電波を発生する機器の近くに設置しない**

電波によりセンサーが誤動作するおそれがあります。

**ライトの角度は、可動範囲以上に曲げない**

無理に曲げた場合、故障の原因となります。

**ボリュームは、工具で調整しない**

強く回すと、破損の原因となります。

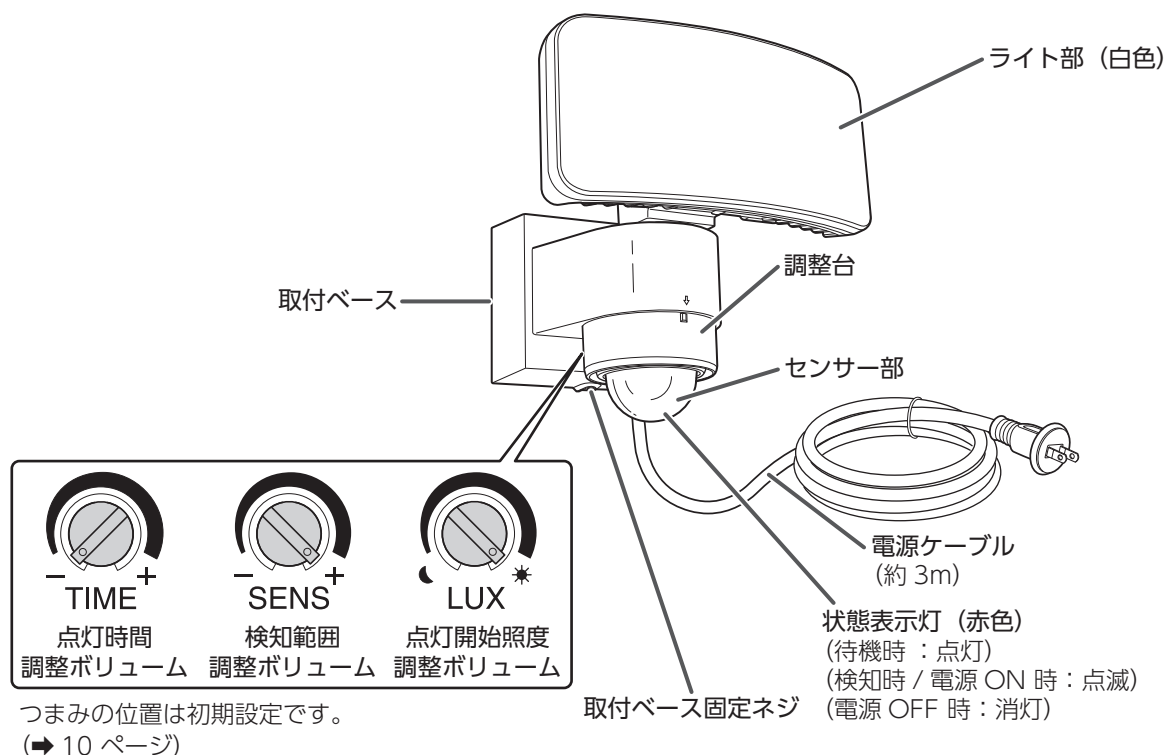
**本製品にホースなどで直接水をかけない**

火災や感電の原因となります。

●その他のご注意

- ・本製品は犯罪防止システム品ではありません。自動照明、一般照明、来客、威嚇照明として使用する目的以外では使用しないでください。空巢、強盗、変質者の侵入などによる損失、損害などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・損傷を受けた電源コードは、危険を避けるため、製造業者、サービス業者または同等の資格保有者だけが交換できます。電源コードの交換が必要な場合は、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。
- ・電源コード (約 3m) を延長したり、切断する場合は、お買い上げの販売店、工事店にご相談ください。
- ・本製品は時間の経過や使用環境により劣化します。時間の経過とともに、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。

各部の名称



設置する前に

事前に下記の「センサーについて」を参考にし、設置したい場所に仮固定してください(設置場所によっては誤動作などの原因となります)。取付高さは、1.8 ～ 2.5m の間に取り付けてください。軒下など、直接風雨の当たらない場所をお勧めします。

センサーについて

モーションセンサーは PIR (パッシブインフラレッド) 方式の赤外線センサーで、周囲の温度変化を検知する機能です。モーションセンサーの検知範囲(距離:最大約 10 m、検知角:180°)で動体や熱の動きがあった場合、センサーライトが点灯します。

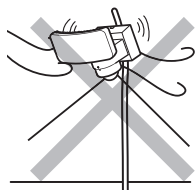
検知しない 取付場所を変更してください

検知エリア内に障害物がある(植木、ガラスなど)
※点線部は検知しません。

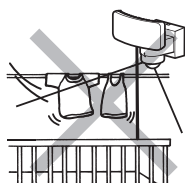


誤動作する センサーが誤動作する恐れがあります。次のような場合は、取付場所を変更してください。

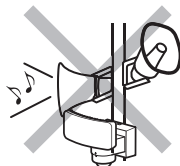
不安定なマストや壁面に取付
(検知エリアが定まらない)



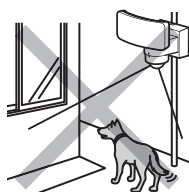
検知エリア内に洗濯物がある
(風で洗濯物が揺れるため)



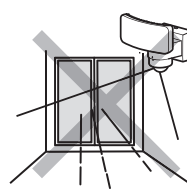
強い振動、電気ノイズの影響を受けやすい



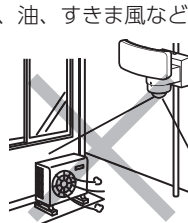
検知エリア内に動くものがある
(カーテン、猫、犬、自動車など)



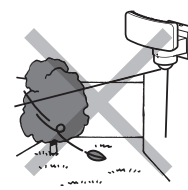
検知エリアが窓に向いている



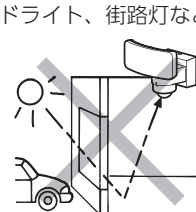
検知エリア内で急激な温度変化がある(エアコンの室外機、水、湯気、油、すきま風など)



検知エリアが木に向いている
(風で木が揺れるため)



直射光、反射光が当たる
(太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライト、街路灯など)



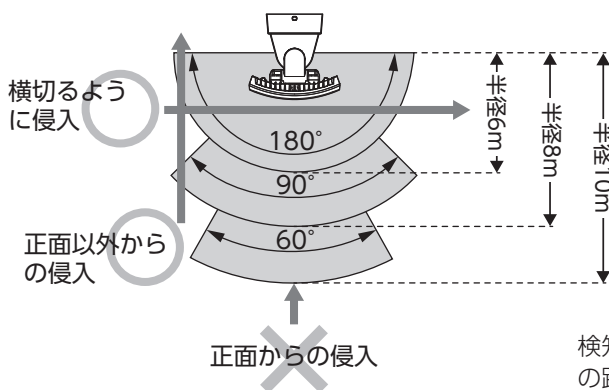
センサーの検知エリア（推奨取付高さ：1.8 m～2.5 m）

下図の検知エリアは取付高さ 2.5 m（検知範囲調整ボリューム最大）の場合の目安です。

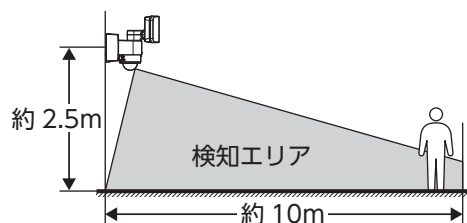
本製品を下図の横から見た図よりも低い位置に設置した場合には、検知エリアが狭くなります。また、高い位置に設置した場合には、検知しにくくなります。センサーの検知エリアとセンサーライトの点灯を確認しながら設置する高さの確認をお願いします。

検知範囲調整ボリューム最大の場合

上から見た図



横から見た図（正面のとき）



検知範囲調整ボリュームを「一」側にすることで検知エリアの距離を短くすることができます。（➡ 11 ページ）

重要

- 電源を入れた直後から約 60 秒間は検知ができません。動作確認をするときは、「動作テスト」（➡ 12 ページ）を参照してください。
- 電波を発生する機器の近くに設置しない。電波によりセンサーが誤動作するおそれがあります。
- 夏季や、衣服に雨や雪が付着している場合は、検知しにくいことがあります。
- 取付位置を変えると、検知エリアは変動します。
- センサーの前に物を置いたり、検知エリア内に鏡などの反射物があると正常に動作しない場合があります。
- センサーは、向けている壁、地面とその間を通る人や車などの動体との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあつたり、急激な温度変化をひきおこす要因があると範囲が極端に狭くなったり、誤動作する原因となります。
- 本製品のセンサーは検知エリア内の温度変化を検出する方式ですが、ゆっくりとまたは急激に温度が変化する場合は、検知しないことがあります。
- センサー部のレンズを傷付けたり、変形させたりしないでください。また検知範囲が狭くなったり、ホコリが付着した場合は、柔らかい布で拭き取ってください。
- センサーの真下は検知しにくいことがあります。
- センサーの特性上、センサーに対して人が正面から近づく動きや検知エリア内の温度変化が小さい場合は、検知しないことがあります。

本体の設置 (本製品は壁面とマストや柱に取り付けることができます)

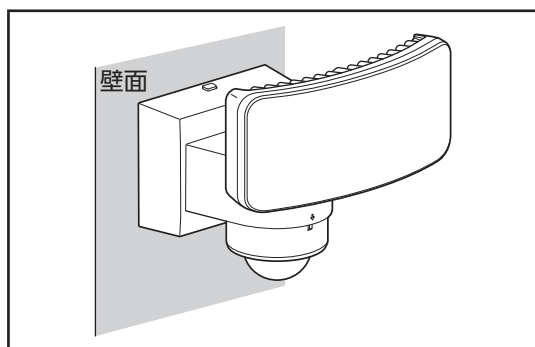
本製品を設置する前に、「設置する前に」(➡ 4 ページ) を必ず確認してください。

重要

- 取付ベースは、安全性と強度を十分に確保できる垂直な壁や柱などに取り付けてください。
- 石膏ボードに設置する場合は、必ず内側の梁にネジがかかるように設置してください。
- 壁面に取り付けると、壁面に穴が開きます。事前に動作確認を行ってから、取り付けてください。
- 本製品は、垂直方向にのみ設置できます。水平方向には設置しないでください。
- 取付ベース内には、電源の配線があり、感電するおそれがあります。本製品を取り付けるときは、必ず AC コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。
- 設置は、必ず晴天時に行ってください。感電の恐れがあります。
- 壁面に直接取り付けるときは、壁面の強度がわかる工務店や工事店にご相談ください。
- ネジ穴の隙間に防水処理が必要です。

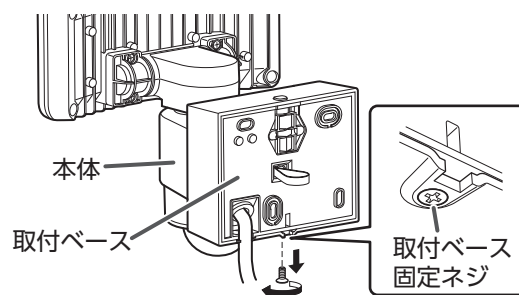
壁面に取り付ける (本製品の電源が入っていないことを確認してください)

取付イメージ図

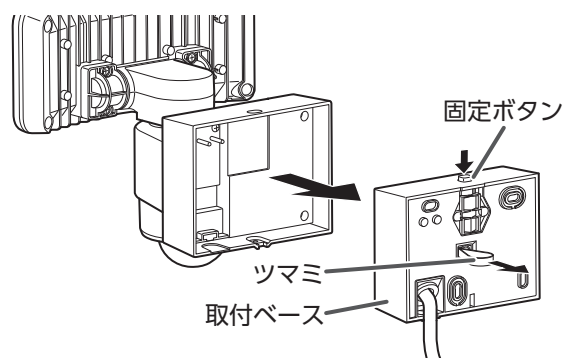


1 本体から取付ベースを分離する

- ① 本体と取付ベースを固定している取付ベース固定ネジを外す



- ② 固定ボタンを押し込んだまま、ツマミを引っ張って取付ベースを取り外す



2 壁面に取付ベースを固定する

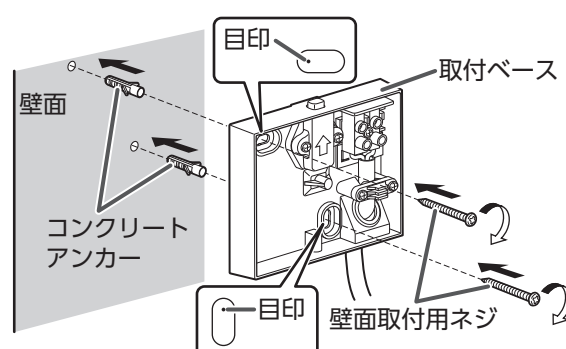
付属の壁面取付用ネジ 2 本で取付ベースを壁面にしっかりと固定します。(目印に壁面取付用ネジの先端を当てて、ねじ込んでください。)

重要

- 本体が落下しないように壁面取付用ネジで取付ベースをしっかりと取り付けてください。
- 作業するときは、取付ベース内に水などがからないように注意してください。

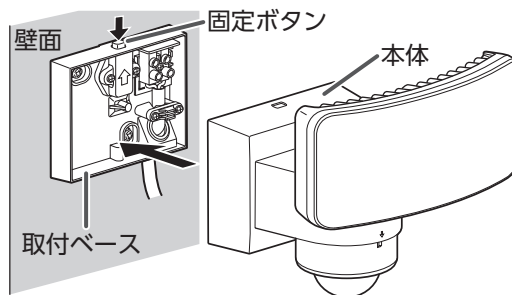


コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所に $\phi 6.4\text{mm}$ 程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、壁面取付用ネジで固定してください。



3 取付ベースに本体を取り付ける

- ① 固定ボタンを押し込んだまま、取付ベースに本体を取り付ける



- ② 取付ベース固定ネジで本体と取付ベースをしっかりと固定する

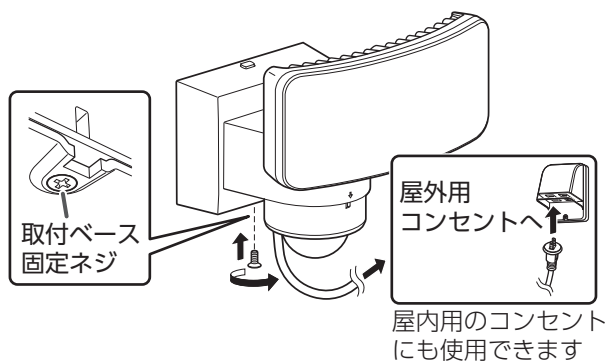
重要

取り外した取付ベース固定ネジは必ず取り付けてください。

4 電源を入れる

電源プラグは、雨などの水がかからないように、屋外用コンセント（または屋内のコンセント）に差し込んでください。

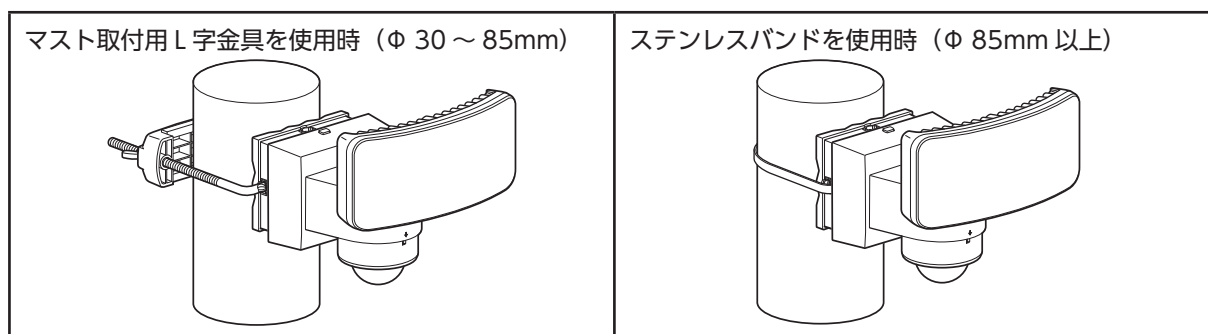
ライト部が約 60 秒点灯（白色）、状態表示灯が 2 秒間隔で点滅（赤色）します。（➡ 12 ページ）



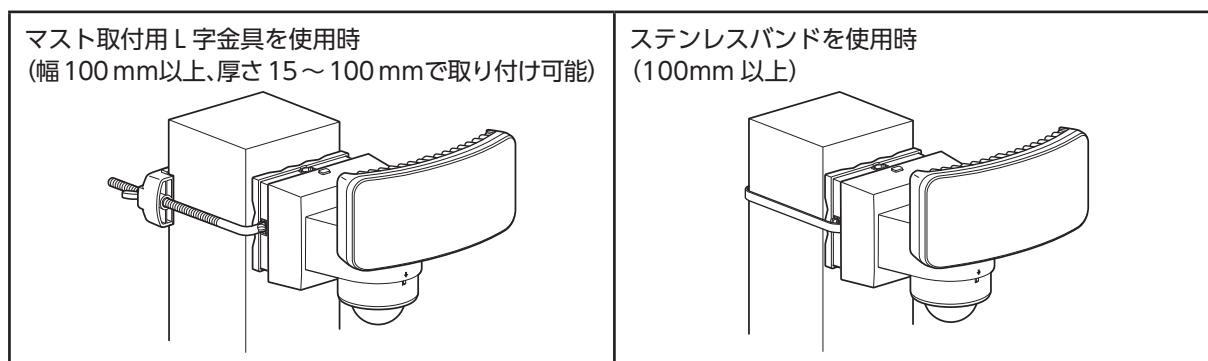
マストまたは柱に取り付ける

取付イメージ図

・マストに取り付ける



・柱に取り付ける

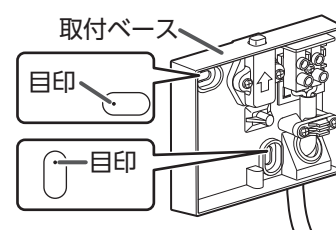


取付ベースの使用方法

付属のマスト取付用ブラケット、マスト取付用クランプおよびマスト取付用 L 字金具、市販のステンレスバンドを使用し、マストや柱、カーポートの支柱、ベランダの手すりなどに設置できます。

マストや柱などに取り付ける場合は、あらかじめ次の方法で本体から取付ベースを分離する必要があります。（➡ 6 ページ）

- ① 本体と取付ベースを固定している取付ベース固定ネジを外す
- ② 取付ベースの目印にネジ穴をあける



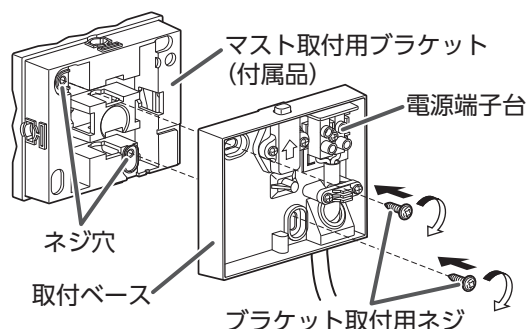
マスト取付用 L 字金具を使用してマストまたは柱に取り付ける場合

取付ベースの取り付け / 取り外しについては、「壁面に取り付ける」(⇒ 6 ページ) を参照してください。

1 マスト取付用ブラケットに本体から取り外した取付ベースを固定する

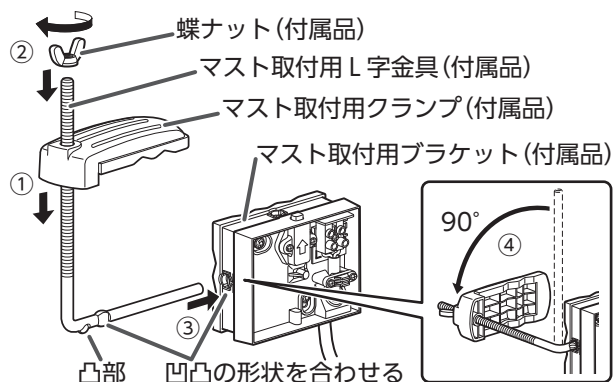
- ① マスト取付用ブラケットと取付ベースのネジ穴 (2 か所) を合わせる
- ② 付属のブラケット取付用ネジ 2 本で取付ベースをマスト取付用ブラケットにしっかりと固定する

重要 電源端子台のネジを緩めたり、触れたりしないでください。



2 マスト取付用クランプとマスト取付用 L 字金具を組み立てる

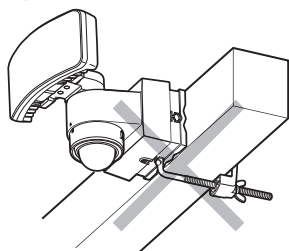
- ① マスト取付用 L 字金具のネジ山側の先端からマスト取付用クランプを右図の向きに差し込む
- ② 同じ場所から蝶ナットを仮に取り付ける
蝶ナットが落下しない程度に締め付けてください。
- ③ マスト取付用 L 字金具の反対側の先端を手順 1 で組み立てたマスト取付用ブラケットの穴に差し込む
穴の形状とマスト取付用 L 字金具の凹凸の形状を合わせて通し、L 字金具の凸部がマスト取付用ブラケットに当たるまで差し込みます。
- ④ マスト取付用 L 字金具を 90° 倒す
マスト取付用 L 字金具を引っ張り、抜けないことを確認してください。



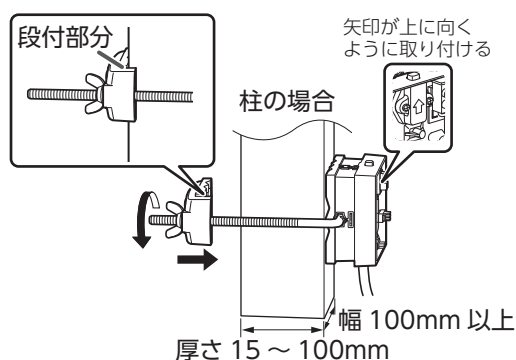
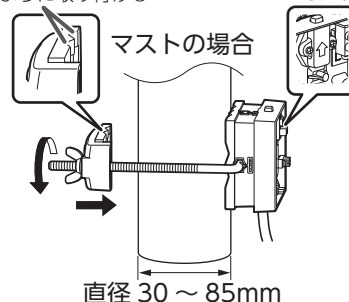
3 手順 2 で組み立てたパーツをマストまたは柱に取り付ける

マスト取付用ブラケットとマスト取付用クランプでマストまたは柱を挟み、落下しないように蝶ナットを締め付けます。
※直径 30 ~ 85mm のマスト、または幅 100mm 以上 / 厚さ 15 ~ 100mm の柱に取り付けることができます。
※柱に取り付けるときは、マスト取付用クランプのリブを柱に引っ掛けて使用してください。

重要 下図のようにマスト取付用 L 字金具を下に向けて使用しないでください。



凹み部分がマストに収まるように取り付ける
矢印が上に向くように取り付ける

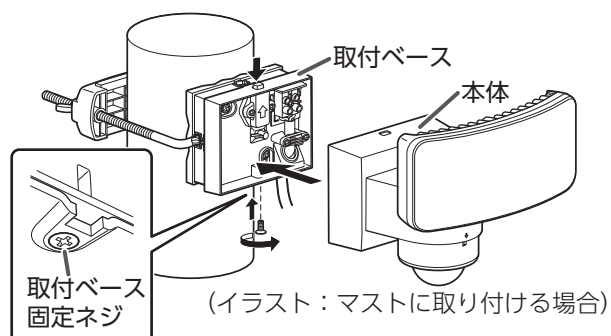


4 取付ベースに本体を取り付ける

- ① 固定ボタンを押し込んだまま、取付ベースに本体を取り付ける
- ② 取付ベース固定ネジで本体と取付ベースをしっかりと固定する

重要 奥まで差し込んでいないと浸水するおそれがあります。

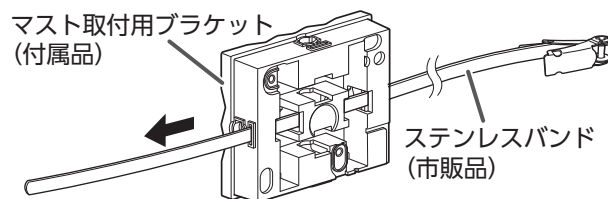
5 電源を入れて、動作テストを実施する (⇒ 12 ページ)



ステンレスバンドを使用してマストまたは柱に取り付ける場合

L字金具を使用できない場合は、市販のステンレスバンド（10mm 幅）を使用します。

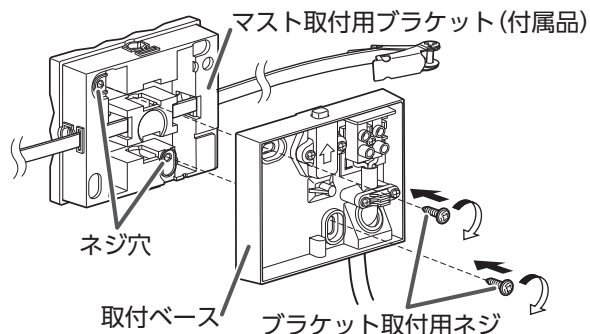
1 付属のマスト取付用ブラケットにステンレスバンドを通す



2 取付ベースにマスト取付用ブラケットを取り付ける

付属のブラケット取付用ネジ 2 本で取付ベースをマスト取付用ブラケットにしっかりと固定します。

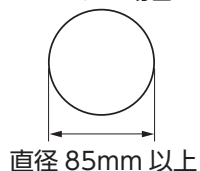
- ① マスト取付用ブラケットと取付ベースのネジ穴を合わせる
- ② 付属のブラケット取付用ネジ 2 本で取付ベースをマスト取付用ブラケットにしっかりと固定する



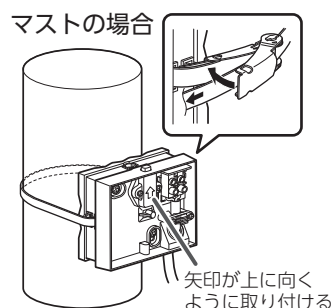
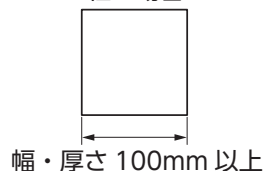
3 手順 2 で組み立てたパーツをマストまたは柱に取り付ける

ステンレスバンドをマストまたは柱に巻き付け、落下しないようにステンレスバンドを締め付けます。

マストの場合

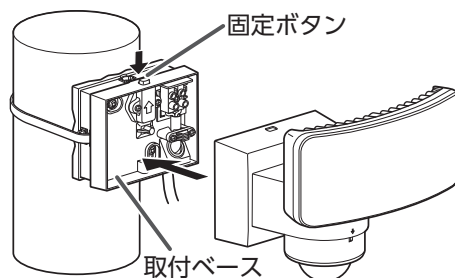


柱の場合

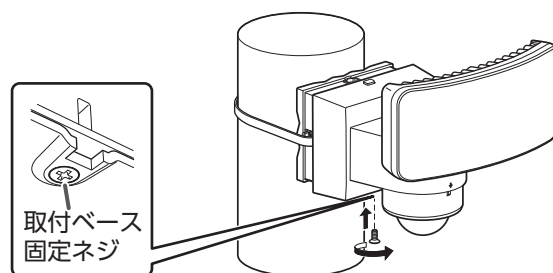


4 取付ベースに本体を取り付ける

- ① 固定ボタンを押し込んだまま、取付ベースに本体を取り付ける

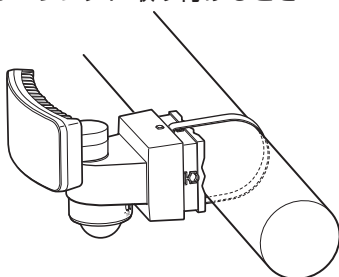


- ② 取付ベース固定ネジで本体と取付ベースをしっかりと固定する

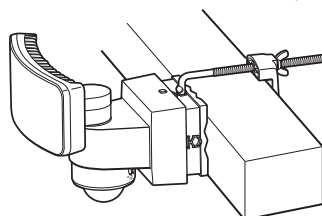


その他取付例

- 手すりまたはベランダに取り付けるとき



- L字金具で横向きに柱に取り付けるとき
マスト取付用 L字金具を使用してください。
(金具を上から通して使用してください。)

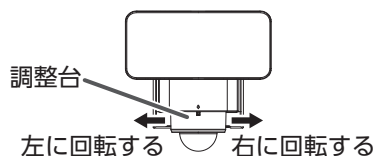


機能の設定

調整台について

調整台は左右（70°）に回転させることができます。回転させるとツマミを調整し易くなります。

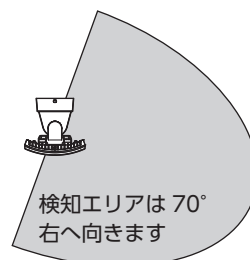
重要 調整台は無理に回転させないでください。破損する恐れがあります。



調整台を左に回転したとき



調整台を右に回転したとき



点灯時間の調整

点灯時間とは、LED ライトが点灯してから消灯するまでの時間です。調整できる点灯時間の範囲は約 10 秒～ 10 分です。

点灯時間調整ボリュームを使用して調整します。

点灯時間を短くする（最小：約 10 秒）	ツマミを「-」側に回す
点灯時間を長くする（最大：約 10 分）	ツマミを「+」側に回す

（初期設定：ツマミを「-」へいっぱいに回した位置）

おおよその設定です。検知エリア内で人が動き続けると、センサーが再検知して点灯時間は延長されます。



点灯時間調整ボリューム

点灯開始照度（明るさ感度）の調整

点灯開始照度とは、センサーが検知を開始する明るさの感度（周囲の明るさのレベル）です。調整できる点灯開始照度の範囲は約 5lx（目安：日没後または日の出前）～ 200lx（目安：夜のアーケード）です。

ご使用の環境に応じて、お好みの明るさで点灯するように調整してください。

点灯開始照度調整ボリュームを使用して調整します。

暗いときに点灯させる	ツマミを「☾」側に回す
明るいときに点灯させる	ツマミを「☀」側に回す

（初期設定：ツマミを「☀」へいっぱいに回した位置）

「☾」側のときは、周囲が暗くなってから点灯します。昼間などの明るい時間帯は点灯しません。

「☀」側のときは、周囲が明るくてもセンサーが人を検知すると点灯します。☀の位置に設定した場合は、200lx 以上の明るさでも点灯します。



点灯開始照度調整ボリューム

検知範囲の調整

検知範囲を調整することで検知エリアが変わります。

検知範囲とは、センサーが検知を開始する範囲です。動体（人や動物）を検知させたいエリア内をカバーできるよう、検知範囲調整ボリュームを使用して調整します。

ご使用の環境に応じて、お好みの範囲で調整してください。

重要 使用環境の温度によっては、センサーの検知範囲が下記のイラスト「センサー検知範囲」よりも極端に狭くなる場合があります。

一度、検知範囲を調整しても、使用環境の温度（時間、季節など）が変化したときは、センサーの検知範囲も変化することがありますので、**検知範囲調整ボリュームは、初期設定（ツマミを「+」へ、いっぱいに回した位置）**でご使用することをおすすめします。

検知範囲調整ボリュームを使用して調整します。

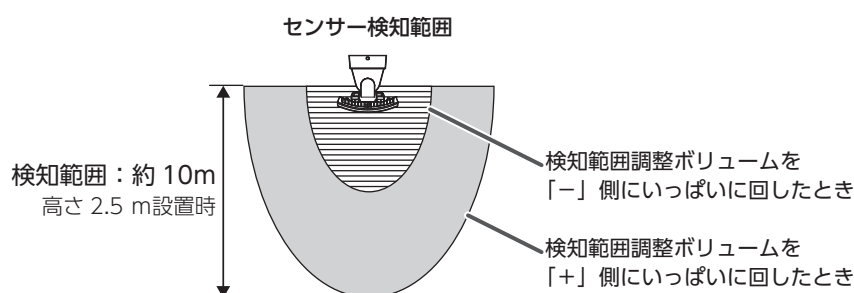
検知エリアを狭くする	ツマミを「-」側に回す
検知エリアを広くする	ツマミを「+」側に回す

（初期設定：ツマミを「+」へいっぱいに回した位置）



検知範囲調整ボリューム

重要 検知エリアの距離は調整できますが、検知角は調整できません。



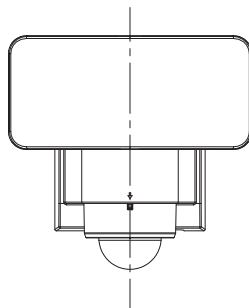
ライト部の可動範囲

ライトの可動範囲は次のとおりです。

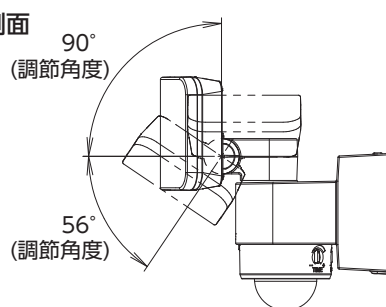
重要

- ・可動範囲以上に曲げないでください。ライト部が破損するおそれがあります。
- ・ライトの向きを変えるときは、本体に手を添えてください。

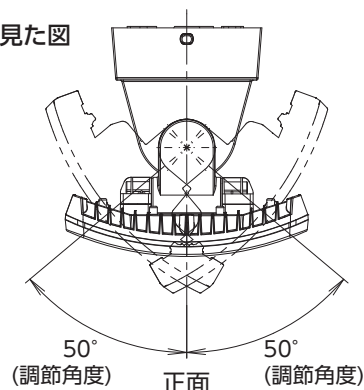
正面



側面



上から見た図



動作テスト (はじめて設置したときに、実施してください)

1 AC コンセントに電源プラグを接続する

電源を接続すると、状態表示灯（赤色 LED）が約 2 秒間隔で点滅します。その間はウォームアップ動作となり、検知しません。

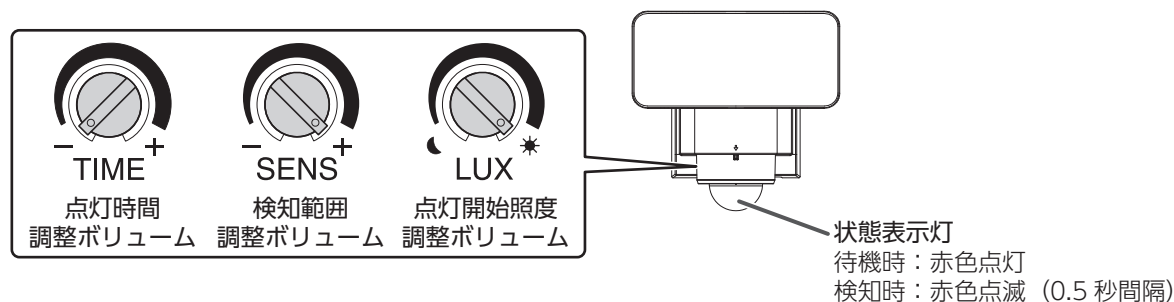
またウォームアップ時は、ライト部も約 60 秒点灯します。

ウォームアップ完了後、ライト部が消灯し、検知エリア内の人を検知可能な状態（検知モード）になります。



2 調整ボリュームを設定する

下図のボリュームを使用環境に合わせて設定します。(イラスト：初期設定)



3 動作テストを行う

- ・検知エリア内を歩いたときに、状態表示灯が赤色点滅し、ライトが点灯することを確認します。

- ・立ち止まったときに、指定の点灯時間が経過後、消灯することを確認します。

※点灯動作後に再び動き出すときは、ライトが消灯するまでお待ちください。

4 再設定する

動作確認後、必要に応じて調整ボリュームを再設定してください。

故障と判断する前に

故障と判断する前に、次の点を確認してください。

気温や天候などの気象条件の変化により、センサーがまれに誤動作することがありますが、故障ではありません。

時間をおいて再度確認してください。

症状	原因	対処方法
電源プラグを AC コンセントに差し込んでも点灯しない	電源が正しく供給されていない	AC コンセントのスイッチやブレーカーなどが ON になっていることを確認してください。 状態表示灯（赤色 LED）が点灯・点滅していることを確認してください。
人がいるのに点灯しない (急に点灯しなくなった)	人が検知エリアに入っていない	検知範囲（SENS）の調整（➡ 11 ページ）、取付場所の変更（➡ 5 ページ）をしてください。
	人が動いていない	検知エリア内に人がいても、人が動かないと点灯しないことがあります。
	人が正面から近づいている	センサーに対して人が正面から近づくと、検知しにくくなります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。
	寒いときや雨が降っているときで、人がマフラーや傘などで覆われている	センサーは人の動きによる温度変化を検知するため、温度変化が小さい場合は検知しないことがあります。検知範囲（SENS）の調整（➡ 11 ページ）、取付場所の変更（➡ 5 ページ）をしてください。
	夏季など周囲の温度と人の表面温度との差が少ない	
	人が非常にゆっくりとした速度で検知エリアに進入している	
人がいるのに消灯する	検知エリアが遮られている	センサーの前にガラスや壁などの遮へい物があると人を検知できません。検知範囲（SENS）の調整（➡ 11 ページ）、取付場所の変更（➡ 5 ページ）をしてください。
	周囲が明るい（夜でも周囲に街路灯などの照明器具がある）	点灯開始照度（LUX）を変更してください。（➡ 10 ページ）
	人が動いていない	検知エリア内に人がいても、人が動かないと点灯しないことがあります。
人がいないのに消灯しない (点灯したままになる)	点灯時間が短い	点灯時間（TIME）を長くしてください。（➡ 10 ページ）
	人が検知エリアに入っていない	検知範囲（SENS）の調整（➡ 11 ページ）、取付場所の変更（➡ 5 ページ）をしてください。
	電源プラグを差し込んだあとのウォームアップ中である	ウォームアップが終了するまで、検知エリアの外でお待ちください。（➡ 5 ページ）
人がいないのに点灯する	何らかの物体をセンサーが検知し続けているため、点灯時間が延長されている	検知範囲（SENS）の調整（➡ 11 ページ）、取付場所の変更（➡ 5 ページ）をしてください。
	検知エリア内に木や旗、通行する車両などの動くものがある	検知エリア内に動くものがあると、検知して点灯することがあります。（検知エリア内に犬や猫などが入っても点灯することがあります。）動くものを取り除くか、検知範囲（SENS）の調整（➡ 11 ページ）、取付場所の変更（➡ 5 ページ）をしてください。
	検知エリア内に熱源や風を出すものがある	検知エリア内や本体付近に熱源や風を出すもの（エアコンの室外機、換気扇など）があると点灯することがあります。障害物を取り除くか、検知範囲（SENS）の調整（➡ 11 ページ）、取付場所の変更（➡ 5 ページ）をしてください。
	検知エリアの延長線上に動くものがある	熱源となる大きなもの（車など）が検知エリアの延長線上を通過すると、検知することがあります。周囲の温度によって検知距離が変わることがあります。検知範囲（SENS）の調整（➡ 11 ページ）、取付場所の変更（➡ 5 ページ）をしてください。
	風や車両の通行で、本製品を取り付けている柱などが振動している	振動の影響を受けないものに取り付けてください。
昼間なのに点灯する	点灯開始照度調整ボリュームが「★」側に設定されている	点灯開始照度調整ボリュームを「☾」側に設定してください。（➡ 10 ページ）
	ウォームアップ動作中になっている	約 60 秒待って消灯することを確認してください。
	センサー部に汚れが付着している	汚れを拭き取ってください。（➡ 5 ページ）

症状	原因	対処方法
LED ライトが点灯したり、消灯したりを繰り返す	本製品の照射方向に光を反射するものがある	反射した光をセンサーが検知して誤動作することがあります。光を反射するものを取り除くか、取付場所を変更してください。
点灯してもすぐに消灯する	点灯時間が最小に設定されている 本製品の照射方向に光を反射するものがある	点灯時間（TIME）の調整をしてください。（➡ 10 ページ） 反射した光をセンサーが検知して誤動作することがあります。光を反射するものを取り除くか、取付場所を変更してください。
状態表示灯が点滅しない	点滅後から消灯までにセンサーが検知している	点滅したあと、消灯までの間に検知した場合は、点滅しません。消灯したあと、再確認してください

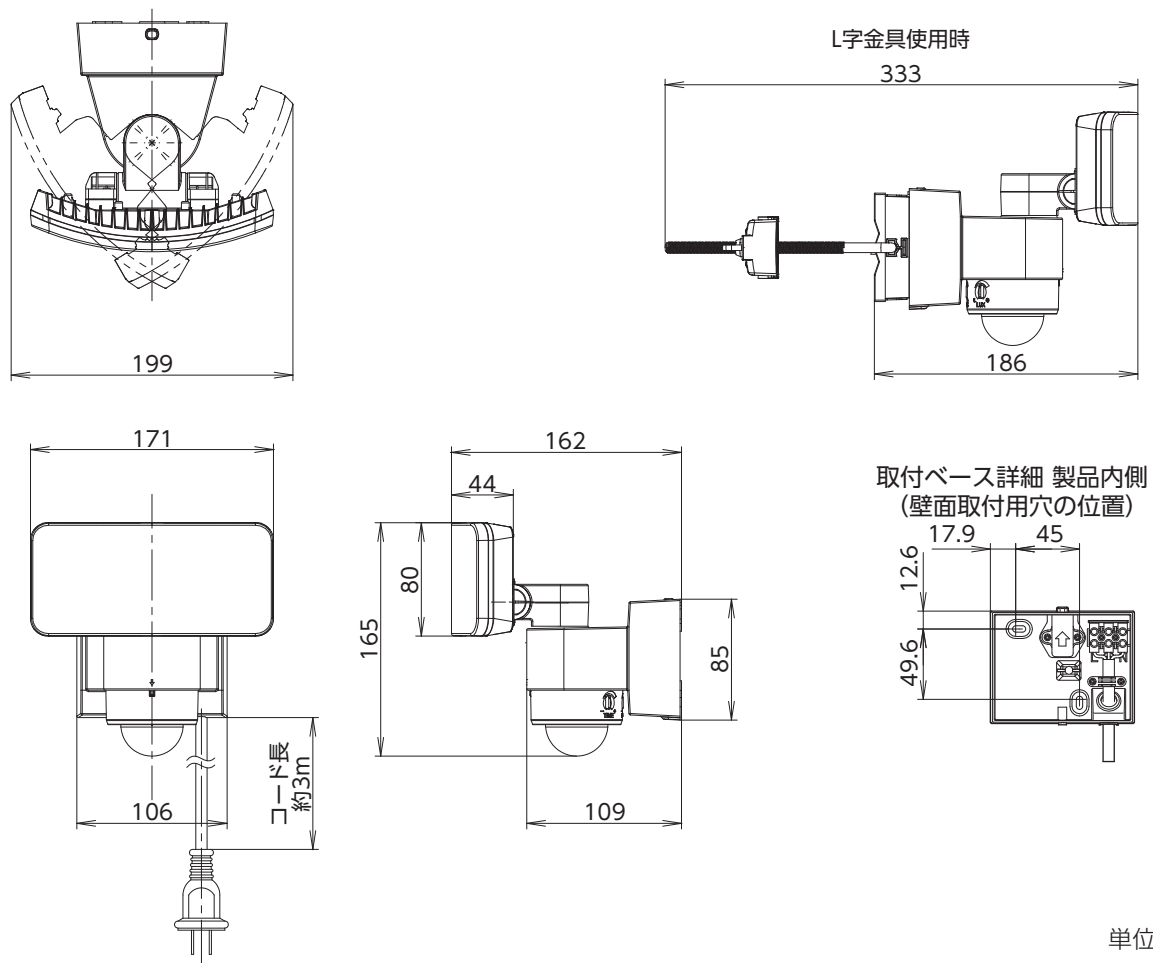
仕 様

品名	LED センサーライト（1 灯型）
型番	WESL1
全光束	600lm
色温度	5000K（昼白色）
照射調節角度	左方向・右方向 50° 上方向 90° / 下方向 56°
検知方式	パッシブインフラレッド（PIR）方式
検知エリア	水平 180°・距離 10m まで（高さ 2.5m に設置時、検知感度最大時目安）
点灯開始照度	5lx ～ 200lx（点灯開始照度調整ボリュームにより連続可変）
点灯時間	10 秒～ 10 分（点灯時間調整ボリュームにより連続可変）
動作表示灯（赤色 LED）	ウォームアップ時：点滅（2 秒間隔）、待機時：点灯、検知時：点滅（0.5 秒間隔）
動作電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	7.5W（待機時 1W 以下）
入力電流	0.13A（最大時）
使用温度範囲	-20 ～ +40℃（結露なきこと）
保護等級	IP44（防沫型）（本体部）
電源コード	VCT 約 3m（防雨型プラグ付）
取付高さ	1.8m ～ 2.5m
外形寸法（H × W × D）	165mm × 171mm × 162mm
質量（電源コード含む）	約 850g

※ LED の交換はできません。LED が損傷したり、寿命（約 30,000 時間）により暗くなった場合は本体ごと交換してください。個々の LED により明るさや色味が異なる場合があります。

※仕様は改良により予告なく変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

外形寸法図



本製品を廃棄するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。

はじめに

設置

動作／設定

その他

製品に関する
お困りごとを解決!



スマートフォンで
各種設定方法が
わかる⇒



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
QRコードからアクセスしてください。

[1017]

保 証 書

型 番	
WESL1	
ご住所・ご店名	
ご販売店	電話 () -
お名前	ふりがな
お客様	ご住所
様	
電話 () -	
お 買 上 年 月 日	保 証 期 間
年 月 日	お買上日から 1 年 間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)
したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター

土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※ 全国一律料金でご利用いただけます。(1912)
※ 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

DXアンテナ株式会社

受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)

一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス

<https://www.dxantenna.co.jp/>